



各支部・部会行事報告

■小金井2支部合同 経営研究会・異業種交流会 2011年12月1日(木)

小金井・三鷹商工会工業部会が共催 法政大学・大学院生等を招く

12月1日(木)午後6時から小金井市商工会館で、今年度3回目の経営研究会・異業種交流会が開催され、会員の他、両商工会会員、後援の多摩小金井ベンチャーポート研究会会員、一般の方や大学院生など8人を含む71人が参加しました。



はじめに、村越政雄小金井北支部長の開会の挨拶、講師紹介とこの研究会に期待する事などの講話で開始。今回の講師、サンシングループ代表・経営学博士の石井宏宗氏には、「経営の理論と実践の立場から」と題して基調講演を

いただき、その後、参加者による質疑応答。この研究会の感想と講師への謝辞は、河村清法人会顧問が述べられ、最後は、幹事支部の石黒秀男南支部長が、各共催団体や参加者への感謝とこの会の意義を語られました。

(小金井南支部社会貢献委員 小淵昌夫)

異業種交流会:

経営研究会に引き続き、異業種交流会が開催された。開会の挨拶で、小金井市商工会の小美濃和夫工場分科会会長は、「会員同士がこのような研究会を通して勉強し、互いに研鑽しあうことは大変意義深い。これらの知見を共有し、自らの企業経営に生かすとともに、地域社会に貢献していきたい」と語った。

乾杯の音頭は、今回初めて共催に参加した三鷹市商工会の佐藤晃工業部会長が務め、「互いに地域で連携し、このような研究会を開催することは有意義なことである。さらに、11月18日と19日に、三鷹産業プラザで、“第一回武蔵野エリア産業フェスタ”を開催し、武蔵野・三鷹・小金井市を中心とした製造業・情報通信産業の元気な企業が一同に終結し、製品・技術展示などで地域社会にご覧頂いた。このような研究会や展示会を通して、自らの経営力を上げると共にお互いに連携し社会へ貢献してゆきたい。」と語った。

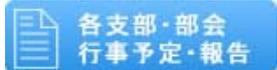
交流会では互いに語り合いが延々と続き、閉めの挨拶は小金井北支部の鈴木茂副支部長が、「来年度は幹事支部が北ですが、会員の皆さんに役立つ研究会を開催できるように頑張ります」と“三本締め”を行った。

講師経歴:

企業再生・事業継承・企業(部品メーカーやITコンサル会社等6社)をてがける企業家であり、また明治大学専門大学院等3大学の講師

大学院生等:

法政大学大学院工学研究科の渡辺嘉二郎教授研究室ゼミ生8名:社会貢献として小金井公園落ち葉回収作戦に参加した学生を経営研究会に招いた。





[各支部・部会行事報告一覧へ戻る](#)